



2年生は、12月中旬に性に関する授業を行いました。授業の内容を紹介しますので、保護者の皆様も一緒にご覧ください。

2年生「『異性との関わり』～中学生として望ましい男女交際について～」

中学生のこの時期は、思春期真っただ中で、異性への興味や性的な興味・関心が強くなる傾向があります。人を好きになったり、性行動に興味を持ったりすることは、発達段階においてごく自然なことです。(もちろん個人差もあります。)しかし、過激で、時として誤った性情報が子供たちを混乱させる危険性があります。そこで、「『異性との関わり』～中学生として望ましい男女交際について～」というテーマで授業を行いました。授業のはじめに、心や体についての事前アンケートの集計結果などを紹介しました。

○「お付き合いしている Y 男くと A 子さんのやりとり」を読んで、その二人の会話から感じたことや問題点を考えてもらいました。

キスを迫る Y 男に対して出た意見

- ・自己中心的、強引
- ・思いやりを持つべき
- ・A 子を下に見ている
- ・相手の意見を聞いていない

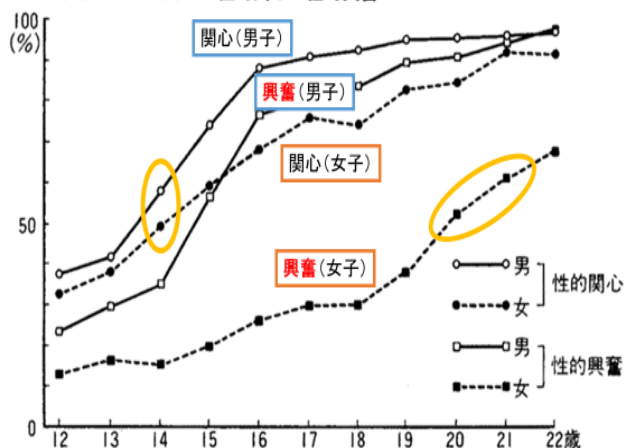
Y 男に対してはっきり気持ちを

言えない A 子に対して出た意見

- ・自分の意見をはっきり言えていない
- ・嫌なことは嫌と言った方がいい

どうしても困ったときには、誰かに相談をすべきです。しかし、友人に相談したことがきっかけで、広まってほしくないことまで広まってしまうことも考えられます。ただ、命にかかわること、体に関わること、どうしても自分では解決できないことは大人に相談しなければいけません。『性的な関心と興奮のグラフ(右図)』を提示しました。性的な関心は男女で大差なくある一方、性的な興奮の現れは、男女で異なり、女子は20歳ごろにやっと50%に達します。個人差も大きいです。中学生として、望ましい男女交際を考えたときに異性間のマナーとルールが大切になります。「遅い時間帯に会わない」「二人きりにならないようにする」「肌を露出した服装をしない」ということも大切です。そして、**自分の体を守る、大切にするという意識を常に持ってほしいと思います。**また、大脳の働きについても学びました。人間は本能を理性でコントロールすることができます。**衝動的に行動せず、じっくり考えて行動できる人になってもらいたいと思います。**

図4 年齢別経験率(3)——性的関心・性的興奮



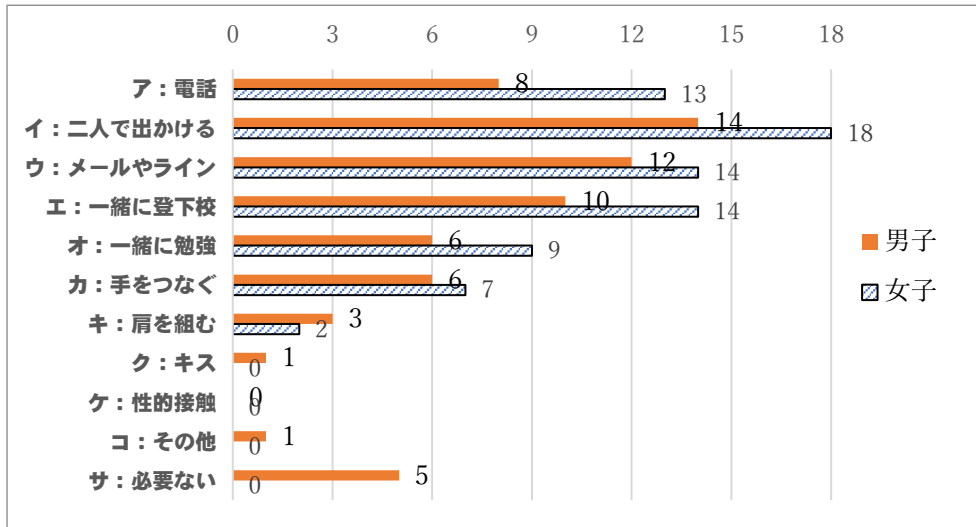
○生徒のワークシートにあった学習の振り返りを紹介します。

- ・男女ではもちろん、女子の中でも性への関心などに差が出るのがわかったので、あまり気にしすぎないようにしようと思った。また、相手の気持ちをしっかり考えた言動で自分本位にならないようにしたい。
- ・心や体が成長して変わっていく中で、相手の気持ちを考えることや自分の考えをはっきり言うことを大切にしたい。全てはできなくても、できる限り相手を理解してあげたい。

3年生は、12月中旬から後半に性に関する授業を行いました。授業の内容を紹介します。

3年生「『性に関する欲求と行動』～中学生として望ましい男女交際～」

○「中学生ではどんな男女交際が望ましいと思いますか？」



人生の中で、多くの人が性行動を選択することになるでしょう。皆さんが性行動を選択するとき、その行動には必ず「命の誕生」という軽視できないものがついてきます。**人間は他の動物と異なり、理性によって行動を選択することができます。自分の行動がもたらす未来を想像して、その行動が今の自分にとって必要なことなのかをよく考え、行動する必要があります。**

さらにワークシートを用いて、思春期の性行動の光と影について考えてみました。好きな人がいることで毎日楽しく過ごすことができることもあるでしょう。その反面、「性に関する欲求のままに行動したらどうなるか」、影の部分もみんなで考えました。好きな人に(相手からの返信がないのに)何度もしつこくメールやラインを送ったり、待ち伏せをしたりしたら、「**ストーカー行為**」になります。無理やりキスをすると、相手は嫌な気分になります。相手の気持ちを無視して、性的接触をもてば「**犯罪**」になります。**自分の欲求に負けて、相手を傷つけることは決してあってはならないことです。それは、望まない妊娠によって失われてしまう尊い命に対しても同じことです。**

尊い命と自分自身の心と体を守るために、正しい知識と高い意識を持たなければなりません。それは、もう皆さんには、その命を宿す力が備わっているからです。これからたくさんの経験をして、自分を成長させて、そして笑顔あふれる素敵な人生を送ってください。

○最後に、「高校2年生で望まない妊娠をしてしまった女性の手記」を読んで、感想を書いてもらいました。

- ・交際する上で、相手に依存せずしっかり自分の芯を持つことが大事。私たちは、もう大人になりはじめていて、性に関することは自分が後悔したり、悲しんだりしないようにしたい。相手に流されず、自分が伝えたいことを相手にしっかり伝えたい。
- ・中絶をすることはとても辛いこと。自分が好きになった人がそのような思いをしないように、自分のこと、そしてより相手のことも考えて生活したい。
- ・私たちの性に関する行動は責任が伴うとよくわかったので、楽観的に考えて行動しないよう気を付けたい。

お知らせ

令和4年1月19日(水)にNPO法人くまがやピンクリボンの会による「中学生から考える『生命の授業』」を開催します。今年度は、第2回学校保健委員会を兼ねての実施となります。

この講演会は、「がん」を実際に体験した方々の貴重なお話になります。がん教育を通して、改めて生命の大切さについて考えましょう。

日時	場所	対象者
令和4年1月19日 15時05分～	奈良中学校体育館	第1学年生徒、第1学年保護者、奈良中学校学校保健委員会委員 (第1学年保護者及び委員の皆様には案内、参加申込書は配布済みです。)

